



板一中だより

平成28年12月22日(木)

第23号

教育目標

- ・ 自他を尊重し自主性をもつ人間に育てる
- ・ 心身ともに健康な人間に育てる
- ・ 基礎的な知識と技能を身につけた人間に育てる
- ・ 創造性に富む人間に育てる

1年生：99名(4学級) 2年生：150名(5学級) 3年生：140名(5学級) 計389名(14学級)

保幼小中連携教育「板橋地区大山駅周辺いきいき学びのエリア」(板二小・板六小・板七小・板一中)



校長 上倉 敏郎

2学期を終えて

校長 上倉 敏郎

今月が終わるとお正月を迎えます。去りゆく年を惜しみ、新しい年を希望に燃えて迎える。我が国における地域・家庭での最大の行事です。一時期「虚礼廃止」を大上段に掲げ、全ての「礼」も一掃してしまうような雰囲気があり、ずいぶん正月の行事としての地位も低下してしまっていると感じます。もちろん「虚礼」は不要です。しかし「礼」は大切なものです。

家庭では旧年の汚れ落としの大掃除、新年を迎える諸準備に猫の手も借りたい忙しさ、子どもに家族としての一員の自覚が問われる場面です。正月に派手なことは不要です。この節目にやるべきことをきちんとすればよいのです。元日、家族皆で顔を合わせ今年の無事を祈って新年のあいさつ。来客を迎えたり、また他家に訪問したときの新年のあいさつ。これらを通じて子どもは他の大人に評価され、新たな自覚をもちます。「ずいぶん大人になったね。立派なあいさつだ。」この一言で子どもが変わります。

さらに、休みに入ってもう一つ大切なことがあります。それは子どもが自由に使える時間をどう過ごすかです。家庭や地域で人のた



G組、上級学校訪問(11月8日)



施設が充実しているなあ・・・(11月8日)



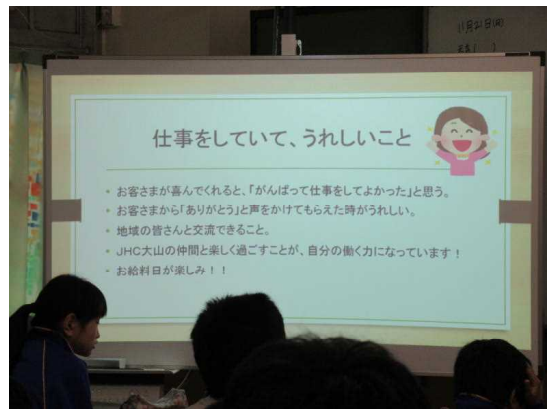
G組、就労講演学習の様子(11月21日)

めに優先して有効な時間を使わせたいのが願いです。それでもテレビを見たりゲームをしたりの時間が普段よりかなり増えるのではないかと心配しています。

また、脳の前頭葉の中にある前頭前野に間の行動の抑制機能があることが証明されています。「心の源泉」とも言える場所であるということです。この前頭前野はゲームをしているときには全く働かず、「読み書き計算」をしているときに活発に働くという実験結果が出たのです。すなわちゲーム以外に頭を使わなければ、この前頭前野の発達はないということです。ゲームに使う時間が多くなればなるほど心の抑制力が発達しなくなるということです。

折角の機会ですから、「テレビゲームばかりやっているんじゃない、家を手伝え。」「そんなことしているのだったらスポーツをしろ、勉強をしろ。」と子どもの将来のために自信をもって、もっと強く言う必要があるかもしれません。

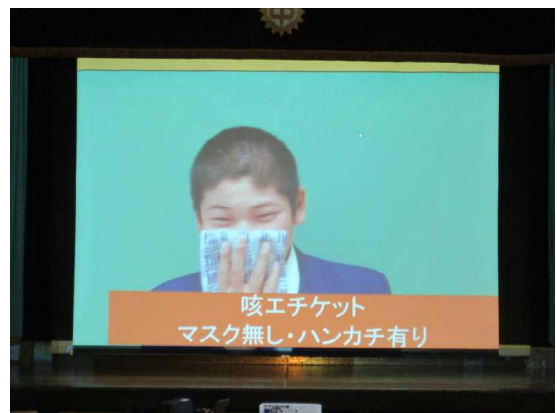
この2学期間、地域の皆様や保護者の皆様には本校の教育活動並びにPTA活動の推進につきまして、温かなご理解とご支援・ご協力を賜りましたこと、厚く感謝申し上げます。来年もよろしくお願い申し上げます。



仕事も楽しまない。(11月21日)



保健委員会の取組(11月21日)



意外に知らなかったことばかり。(11月21日)



1学年「米育」授業の様子(11月22日)



岩見沢市との交流、現地の方と(11月22日)